SBI岡三アセットマネジメント

情報提供用資料
2026年11月24日

クロッキー・オール・カントリー高配当株指数の推移

オール・カントリー好配当リバランスオープン（資産成長型）／（年4回決算型）
追加型投信/内外/株式

- 当ファンドは、投資信託証券「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」への投資を通じて、世界の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー・オール・カントリー高配当株指数*（円ベース）のリターンを享受することを目指すファンドです。
- 本レポートでは、クロッキー・オール・カントリー高配当株指数（以下、当指数）の足元の推移や注目銘柄についてご説明します。

足元の市場環境と運用状況について（2026年11月18日時点）

市場環境と当指数の推移

10月の世界の株式市場は、上値の重い展開となりました。米国では、AI関連企業の成長性や資金調達への懸念が重石となり、半導体関連株などのテクノロジー株を中心に苦戦しました。欧州では、市場予想を上回るドイツの企業景況感指数や企業決算が好感されました。

11月は、米国の中間選挙を受けた政策運営への不透明感に加え、金利や企業業績への警戒感から、世界の株式市場は不安定な値動きとなっています。

設定来の騰落率は、当指数が+36.5%、世界株式指数（MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（以下、ACWI））が+29.6%です（11月18日時点）。

図表1　当指数と世界株式指数の推移

（期間　2024年9月27日～2026年11月18日、日次）



※2024年9月27日（設定日）を100として指数化（米ドルベース、配当込み）
※世界株式指数はMSCI ACWI Index

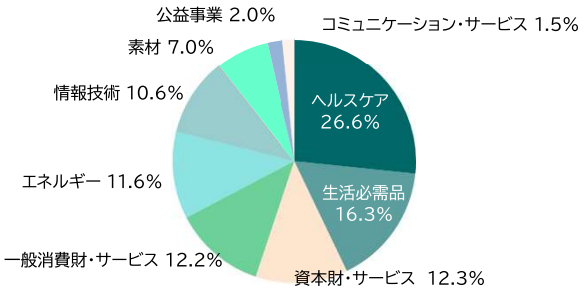
当指数の運用状況

当指数の業種別構成比率（11月18日時点）を見ると、1位はヘルスケア（26.6%）、2位は生活必需品（16.3%）、3位は資本財・サービス（12.3%）となっています。配当利回りが総じて高い傾向にあるヘルスケアと生活必需品の2つのディフェンシブセクターが、ポートフォリオの半数近くを占めています。

11月に入ってからは、当指数で組入比率の高いヘルスケアや生活必需品セクターが底堅く推移した一方、エネルギーや情報技術セクターは苦戦しています。こうしたディフェンシブ性の強さもあり、当指数の下落率は世界株式指数に比べて限定的となっています。

図表2　当指数の業種別構成比率

（2026年11月18日時点）



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

図表3　当指数構成銘柄の配当利回り上位10銘柄

（2026年11月18日時点）

	企業名	投資国	セクター	配当利回り
1	タイ石油公社[PTT]	タイ	エネルギー	7.5%
2	BHPグループ	オーストラリア	素材	6.4%
3	クラフト・ハインツ	米国	生活必需品	6.3%
4	ファイザー	米国	ヘルスケア	6.1%
5	リオ・ティント	英国	素材	6.0%
6	アムコア	スイス	素材	5.9%
7	ライオンデルバセル・インダストリーズ	米国	素材	5.9%
8	中国石油天然気［ペトロチャイナ］	中国	エネルギー	5.8%
9	インペリアル・ブランズ	英国	生活必需品	5.7%
10	アルトリア・グループ	米国	生活必需品	5.6%

※配当利回りは実績ベース（小数点第2位を四捨五入）
※セクターはGICS（世界産業分類基準）ベース

（図表1～3の出所）Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

＊「クロッキー・オール・カントリー高配当株指数」とは、ドイツ銀行グループが1996年に独自に開発した株式分析手法である「クロッキーモデル」に基づき全世界の株式から、高配当かつ割安と判断される株式を選定する戦略のリターンを反映する指数です。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

銘柄のご紹介　メドトロニック(アイルランド、ヘルスケア)

企業概要

メドトロニックは、米国で創業し、アイルランドに本社を置く世界有数の医療機器メーカーです。2015年のアイルランド企業コヴィディエンの買収に伴い、法人上の本拠地をアイルランドへ移しました。心臓ペースメーカーなどの心血管治療機器をはじめ、手術用機器、脳・脊椎関連機器、糖尿病治療機器などを幅広く展開しています。長年培った医療技術と世界的な事業基盤を強みに、近年は手術支援ロボットや心血管治療など、成長分野への展開を進めています。

手術支援ロボットが新たな成長をけん引

今後の成長分野として注目されるのが、手術支援ロボット「Hugo(ヒューゴ)」です。医師がロボットアームを操作し、患者の身体への負担が少ない手術を支援するシステムで、世界各国で導入が進んでいます。2025年12月に米国で泌尿器科手術向けの承認を取得し、2026年2月には米国初の商用手術に使用されました。さらに同年11月には一般外科手術向けの承認も取得しており、婦人科手術への対象拡大も進めています。成長が期待される手術支援ロボット市場で、同社の手術用機器における顧客基盤を生かした普及拡大が期待されます。

主力の心血管領域にも期待

同社の成長を支えるもう一つの柱が、主力の心血管領域です。なかでも、電気パルスを用いて不整脈の原因となる心臓組織を治療する新技術の普及が進んでおり、2026年度第4四半期には関連事業の売上高が前年同期比で大幅に増加しました。このほか、高血圧を治療する機器など、新たな市場の開拓にも取り組んでいます。

既存事業で築いた世界的な顧客基盤を生かし、手術支援ロボットや革新的な心血管治療などの成長分野を拡大することで、中長期的な成長が期待されます。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したものではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

図表4　同社の株価の推移

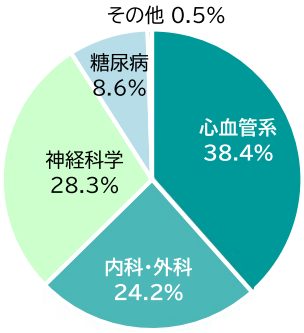
(期間　2025年12月31日～2026年11月18日、日次)



※株価は配当込み(税引後)のトータルリターンを使用。

図表5　事業別売上高構成比率

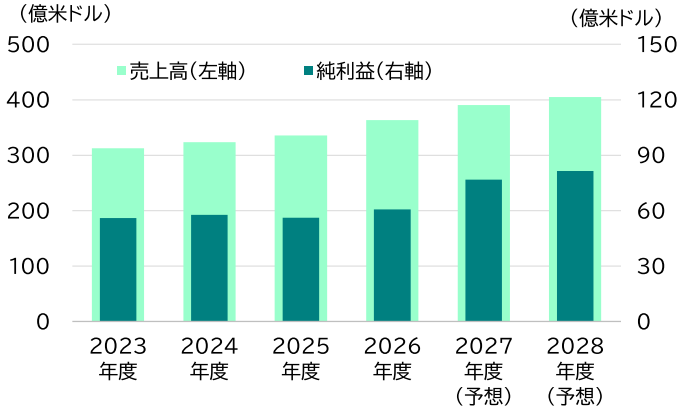
(2026年4月期)



※小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

図表6　同社の売上高と純利益の推移

(期間　2023年度～2028年度、予想を含む)



※2027年度以降は予想
※同社の決算期末は4月

(図表4～6の出所)Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞
■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人資産運用業協会に加入しています。

【投資リスク】

■ 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、投資信託証券を通じて値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
■ ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カウンターパーティ・リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

■ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
■ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
■ ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
■ 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
● 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞
■ 購入時
　購入時手数料　：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
　　詳しくは販売会社にご確認ください。
■ 換金時
　換金手数料　：ありません。
　信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.25%

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞
■ 保有期間中
　運用管理費用（信託報酬）
　　：純資産総額×年率0.913%（税抜0.83%）
　運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
　　：純資産総額×年率1.493%程度
　　実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等を含めた報酬です。
　　なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

■ その他費用・手数料
　監査費用　：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

● お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
● 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

＜本資料で使用しているインデックス＞
● MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
＊岡三ビジネス＆テクノロジー証券株式会社	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

＊岡三ビジネス＆テクノロジー証券株式会社は、「資産成長型」のみの取扱いとなります。
※株式会社SBI証券は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

委託会社
お問合わせ先
電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00～17:00)
ホームページ
https://www.sbiokasan-am.co.jp